

I. 令和6年1月15日（月）奥州市地域医療懇話会

No.	ご意見・ご質問	市の対応方針
1	<p>○本田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の市のことを考えると、5施設をすべて維持するという考えは見直すべき。 ・衣川診療所はへき地という考えで仕方ないと思うが水沢病院の7.7億円の繰出金は、提供される医療のレベル、入院している患者さんの数等を考えると、非常に過大である。 ・赤字を正当化してるような資料はおかしいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5施設については、連携による効率化を図り、連携の形を構築したうえで将来的な施設の在り方を検討します。 ・公立病院が担うべき医療に対する、不採算部分に対する一定ルールの範囲での繰出金をご理解をお願いします。 ・正当化しているものではなく、厳しい医療環境のなか収支均衡に向けて取り組んでいく旨を記載しているものです。
2	<p>○亀井会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外に入院を持ってない診療所は連絡がつかないので、入院を持ってるところが診ることは必要。 ・何年も稼動していない病床や、平均すると2人3人しか1日に入らない診療所をどう考えるのか。入院は病院に頼んで外来だけとか、こういう場合はこうしていくということ盛り込んだ文章を作って欲しい。 ・プランの内容が現状維持の内容となっており、これから先こうなり得るだろうという予想に持つていくためにどうするという文章も入れて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立病院の役割として、夜間の救急や開業医さんのバックベッド機能は必要と考えています。 ・プランのP31の5.施設・設備の最適化の項目に今後の社会情勢に応じた医療提供体制の役割や必要性について引き続き検討を行っていく旨を追記しました。 ・プランの構成として第3章で現在の状況を、第4章で役割の明確化と連携の取り組み、数値目標や働き方改革、経営目標を施設ごとに記載しています。
3	<p>○郷右近委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの医療施設のことを考えていくと言うが、それはこの5年のうちに考えるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた役割分担や、奥州市モデルの実現のため、人口や患者が減少する可能性も考慮しながら、新医療センターを見据えた各施設の役割分担や必要性について、来年度早々にも検討を開始します。
4	<p>○佐々木委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント3番の担うべき役割で、まごころ病院に歯科機能もあるということを含めて書いていただきたい。 ・令和6年4月の介護保険の改定で、福祉施設は、事業継続計画において、運営できる病院と契約し入院病床の確保が義務となっています。多くの施設があり、公立病院の役割としてバックベッドの機能をもつことが大切と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プランのP23まごころ病院の機能及び体制とP39の目標達成に向けた具体的な取組に歯科の今後の取組等を追記しました。 ・大変な貴重なご意見であり、公立病院の役割としてのバックベッド機能について、取組検討を進めます。

	<p>・今休止している前沢診療所のベッドは、医療ベッドから介護ベッドへ転換するべきと考えています。地域にベッドが無くなるのではなく、介護に転換という話になれば、地域の皆さんも嫌とは言いませんし、そういう形で計画に載せてもらえばありがたいと思います。</p>	<p>・今後進めていく将来の役割分担や必要性についての協議する中で、いただいたご意見を踏まえて検討を進めていきます。</p>
5	<p>○千葉委員</p> <p>・5つの診療所の院長・所長先生が、これからこうやっていくんだという志を持って進めていく意気込みを見せてほしい。</p> <p>・医業収入を上げることが目的化しているように感じた。理念や存在意義に対してどんなビジョンを持って、5年後10年後市民のためにどうあるべきかを考えて、将来の絵を書くことができれば、結果的に医業収入上がると考える。</p>	<p>・経営改善の内容と収支計画については、院長所長先生と十分な議論しながら取りまとめたものであり、掲げた目標に向けて進めていきます。</p> <p>・今後進めていく将来の役割分担や必要性についての協議する中で、いただいたご意見も踏まえて検討を進めていきます。</p>
6	<p>○川村委員</p> <p>・人口動態の予測に反して、患者数が過大となっているのではないか。それに応じて収益も上がっている。</p> <p>・病院建設については、長いスパンで考えてほしい。</p>	<p>・人口動態予測の中で将来的に人口や患者数が2040年までに大きく減少していく予測を示しており、計画期間での減少はまだ大きくならないと想定され、現段階での患者数や収益について伸ばしていく必要があると考えています。</p> <p>・新医療センターの整備計画については、長期的な視点をもって協議していきます。</p>
7	<p>○亀井会長</p> <p>・市の医師奨学生の義務履行の状況などについて、市民に丁寧に説明していく必要がある。</p>	<p>・医師奨学生の状況については、機会をとらえて市民に分かりやすく丁寧に説明をしていきます。</p>
8	<p>○佐藤委員</p> <p>・経営改善の主な取り組みで、まごころ病院のレスパイト入院の対応は、在宅において介護者の方にとって役立つもので、本当にいいなと思いましたし、水沢病院のところでサブアキュートの受け入が入っており、これも地域包括ケアシステムを進めていく上でいいと思う。</p>	<p>・プラン案に記載された項目に対する賛同のご意見として承ります。</p>
9	<p>○本田委員</p> <p>・水沢病院にどういうドクターがいるか分からず紹介しづらい。こういう患者を診れるとか、そういうアクションを医師会に示すなどの経営努力が必要。</p>	<p>・PRが不足しているのご指摘を受け止め、どのような患者さんを受け入れ可能なのか、丁寧な周知に努めます。</p>
10	<p>○亀井会長</p> <p>・糖尿病の患者さんは糖尿病手帳1つだけで、紹介状なしでどんどん来てもらって返してという、手帳の中だけで済んでいるので非常にありがたい。</p>	<p>・今後も受け入れしやすい状況で開業医の先生方との連携を進めていきます。</p>

奥州市立病院・診療所経営強化プランに対するご意見・ご質問

II. 令和6年1月16日（火） 奥州市議会全員協議会

No.	意見	市の対応方針
1	<p>○広野議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化プランを作らない場合のデメリットは。 ・日本病院会の調査の根拠資料はあるのか。 ・病院が赤字をやむを得ないと誘導しているのでは。無医村地区での公立病院などの追記が必要では。 ・ポイントにある収支計画の詳細は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の指針によって作ることが義務付けられているものです。後々の起債に影響が出る可能性があるかと予想されます。 ・病院経営の現状を分かりやすくご理解いただくために、調査資料を引用したものです。 ・誘導しているものではありません、病院経営の厳しい状況をご説明しているものです。 ・計画（案）の P41～P47 に各施設の収支計画を記載しています。
2	<p>○小野議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの実施項目についての進捗状況の把握が必要。評価指標を考えるのか。 ・現金残高も場合によりお知らせする必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとの、詳しい検証が必要と考えています。指標はプラン案 P33 以降に記載しています。 ・プランの実施検証を進めていく中でお示しいたいと考えています。
3	<p>○及川佐議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間中の収支は均衡を図る計画にするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の計画期間内での収支均衡は難しいとの試算となっています。令和12年度の収支均衡を目指して経営改善を進めていきます。
4	<p>○千葉敦議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り入れが必要である旨をもっと強調してはどうか。繰り入れ自体を赤字と言われることに違和感を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの P6 に、Q&A で繰り入れの必要性をお示ししています。繰り入れの内容についてご理解をいただけるように努めてまいります。

奥州市立病院・診療所経営強化プランに対するご意見・ご質問

Ⅲ. 令和6年1月17日～2月5日 パブリックコメント

1	<p>パブリックコメント①-1 プラン全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもは総合水沢病院の建て替え問題であったはずでは。 	<p style="text-align: right;">《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プランは国のガイドラインに基づき、令和5年度から9年度までの経営強化の取り組みについて記載するプランとなっています。
2	<p>パブリックコメント①-2 経営に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合水沢病院の経営分析結果を示して、赤字の理由を分かりやすく説明してほしい。赤字を補填すべき市立病院存続の理由になっていない。 	<p style="text-align: right;">《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プランでは現在の経営状況を踏まえながら計画期間中の経営改善の取り組みを記載するものです。 ・令和5年6月に策定した地域医療奥州市モデルにおいて、5つの市立医療施設は、県立病院、民間医療施設、それぞれの強みを生かしながら機能分化を図るとともに、人的つながりを深めつつ、医療情報のデジタル化などDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によって連携を強化し、地域全体をカバーするネットワーク型地域医療体制を構築することとしています。
3	<p>パブリックコメント①-3 医師確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保で奨学金貸与者を当てにするのは時代に合っていない。 	<p style="text-align: right;">《C》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の実績として奨学金関係の医師が3名着任しており、奨学金制度は医師招へいの有効な手段の一つと考えています。これに加え、大学との連携強化や医師紹介業者の活用など、医師招聘を進めていきます。
4	<p>パブリックコメント①-4 医療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムでの総合水沢病院（医療センター）の役割、位置づけを説明してほしい。 ・地域包括ケア病床の増床や理学療法士の増員が書かれているが作業療法士が抜けている。 ・関係部局で検討が行われているのか。 	<p style="text-align: right;">《A》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン案P22の「地域包括ケアシステム構築に向け果たすべき役割・機能」を記載しています。新医療センターの役割や位置づけについては新医療センター整備基本構想・基本計画で詳細をお示しします。 ・P39の総合水沢病院の具体的な取組に、「作業療法士・言語聴覚士」の職種を追記しました。 ・プランの策定にあたっては関係部局と協議をして策定作業を行っています。
5	<p>パブリックコメント①-5 プラン全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から意見を求めるがどのように活用されるのかが不明。 	<p style="text-align: right;">《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見は、対応方針を検討し、プランへの反映又は施策検討の参考とさせていただきます。

6	パブリックコメント①-6 新医療センター整備 (新医療センターの整備について) ・市長は民間経験を生かして早く安く作ると話されていたが、成案がなかなかまとまらない。	《D》 ・新医療センター整備基本構想を令和6年1月に策定し、引き続き整備基本計画の策定を進めています。
7	パブリックコメント①-7 経営に関すること ・医療局、とりわけ総合水沢病院の大赤字は続いていて、コロナが収束すれば補助金も減るので赤字額はまた大きな金額に戻るでしょう。	《D》 ・経営強化プランの着実な実施により、医療局全体での収支均衡が図れるように取り組みを進めていきます。
8	パブリックコメント②-1 経営に関すること ・現状の総合水沢病院の経営状態は人件費比率が高く、経営的には常に赤信号です。原因は多岐にわたりますが、余剰人員を多数雇用しているためとお聞きしました。人員構成割合などの構造改革も必要なのではないでしょうか。	《D》 ・現状の医療提供体制を維持するための人数であり、余剰の人員を多く抱えているものでは無いと考えています。全国的な状況を見ても200床未満の規模の病院では人件費比率が高くなる傾向となっています。経営強化を図るうえで、収入の確保と適正な構造改革も含めて取り組みを進めていきます。
9	パブリックコメント②-2 新医療センター ・現状の建て替えでは負債が増加する。現状の建て替えは反対だが病床の削減等の検討が必要。	《D》 ・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、引き続き整備基本計画の検討を進めているところです。病床の規模などについても、基本計画の検討の中で引き続き協議してまいります。
10	パブリックコメント②-3 医師確保 ・今後さらに医師の確保が困難となります。大学でも派遣ができない状況となっており、医療資源の確保がそもそも困難という事です。	《D》 ・社会情勢の変化により、医師や看護師、医療技術職の確保は難しい状況となっています。奨学生の義務履行の推進や派遣業者の活用、採用条件の見直しなどの取り組みにより必要人員の確保に努めてまいります。
11	パブリックコメント②-4 新医療センター ・診療科の整理を行い、地域全体の医療の充実、確保に努めるとともに、県立病院、開業医との役割分担・連携を図り、適切な構成を目指し診療科(産科等)によってはもっと広域的に、他地域との医療資源の共有も視野に入れた計画が必要と考えます。	《D》 ・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、整備基本計画の検討を進めているところです。いただいたご意見を含め、診療科や病床の規模などについて、基本計画の検討の中で協議してまいります。
12	パブリックコメント②-5 新医療センター ・人件費等の削減を実現できれば建設費も縮小でき経営の健全化も不可能ではないと考えます。少なくとも市民の負担は軽減できます。	《D》 ・新医療センターの整備につきましては、令和6年1月に整備基本構想を策定し、整備基本計画の検討を進めているところです。施設規模や人員体制についても、基本計画において検討してまいります。
13	パブリックコメント②-6 市の施策 ・上記により生じた資金を医療以外、予防・健康増進、介護・福祉、生活サービス・アメニティーに振り	《D》 ・病院経営の健全化を図り、他の施策に支障が生じないように努めてまいります。

	<p>分け、医療の総合化を進め市民の健康を維持増進すべきと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療以外でも若者支援、少子化対策等に振り分けることが今後の奥州市として望ましい支出の在り方と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進などの施策推進については、連携を図りながら進めていきます。
14	<p>パブリックコメント②-7 市の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の母校、北海道大学において過疎地の地域医療分野で活躍している先生方のお知恵を拝借するなどして奥州市の計画を立案するべきと考えます。 ・他の都道府県において参考となる取り組みについてアンテナを高くし情報収集を怠らないよう心掛ける。 	<p>《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療奥州市モデルや新医療センターの整備を進めるにあたり、有識者のアドバイスを受けながら計画策定を進めております。引き続き先進地事例の情報収集や適切な時期での情報発信に努めていきます。
15	<p>パブリックコメント③-1 プラン全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省の経営アドバイザーの経営診断から相当月日が経過していることから、現在の計画案を一旦棚上げし、もう一度医療資源の状況を把握することが必要と考える。 	<p>《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プランは国のガイドラインに基づき令和5年度中に策定を求められており、今年度中にとりまとめるものです。
16	<p>パブリックコメント③-2 市の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心してお産ができるように「仮称県南周産期医療センター」を早急に建設し、周辺自治体からも妊産婦の受け入れを行う必要がある。 ・周産期医療センターの産婦人科医師を5名採用し、過重勤務にならないように配慮するとともに、公費の研修や全国公募による採用に努めるべき。 ・当地域を安心してお産のできる地域に変え、少子化対策をパッケージ化し少子化対策予算を最大限投入し、多くの若者家族を呼び込むことが必要。 ・お産に伴う事故等が発生した場合は医師に責任が及ばぬようにして、全面的に市が責任をもって対応する仕組みを作るべき。 	<p>《D》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療体制については、岩手県保健医療計画に基づき、県が周産期医療圏を設定し医療提供体制の整備に努めています。現在の医療環境の状況の中で、市が単独で周産期施設の設置を行うことは、現段階では難しいと判断しています。
17	<p>パブリックコメント③-3 事業運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の特徴を最大限に生かしながら、院長としっかりコミュニケーションをとって運営する必要がある。 	<p>《B》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携強化については、本プランの重要項目の一つであり、プラン案のP22以降に各施設の連携方針を記載しています。毎月の院長・所長等会議などの場を活用し、連携を深めていきます。
18	<p>パブリックコメント③-4 医療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関が老朽化した際は、廃止することも視野に入れながら、各地域からの通院支援策を検討・実施する。役割を終えた施設は廃止し、現在の重要課題解決に財源を集中するメリハリの利いた運営を。 	<p>《B》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン対象期間後のあり方も含め、中長期的なグランドデザインが必要とのご意見を踏まえ、社会情勢の変化に応じた機能やあり方について引き続き検討を進めていきます。

	<p>パブリックコメント③-5 市の施策</p> <p>・医師会としっかりとコミュニケーションが取れるように市長・院長が定例的に懇談会を実施し、医師会の要望を聞き実現に努力する。</p>	<p>《D》</p> <p>・市と医師会との懇談会の定例開催や病院長が医師会理事として参画しコミュニケーションを図っているところです。地域医療の体制整備については医師会との連携が不可欠と考えておりますので、引き続き連携強化を図っていきます。</p>
20	<p>パブリックコメント③-6 市の施策</p> <p>・全国的に行政と医師会がうまく連携している先進地を視察するなどして、各医療機関を結ぶネットワーク化を行政主導で進め、検査情報等の共有化に要る診療機関の短縮や医療費削減に取り組むことが必要。</p>	<p>《D》</p> <p>・新医療センター整備の一環として、医療・保健・福祉が連携したサービスの提供を目指し、デジタル技術や情報ネットワークを活用した情報ネットワークや人的ネットワークの強化を進めていきます。</p>
21	<p>パブリックコメント③-7 市の施策</p> <p>・行政が医療分野から撤退した場合、民間に住民の健康保持をお願いすることになるので、医師会に対しての助成を実施する。</p>	<p>《D》</p> <p>・医療提供体制や社会状況の変化に施設のあり方検討を継続して進めることにしており、それぞれの役割や提供の方法を医師会と連携しながら検討していきます。</p>
22	<p>パブリックコメント④-1 医療機能</p> <p>・今は DX の時代であり、電子カルテ導入がやや遅かったのではないかと思います。導入したけれど、いろいろ不具合や順調にいかないことも多くあると思いますが、そこはもっと予測を立てて動いてほしい事項です。</p>	<p>《B》</p> <p>・地域包括ケアシステムを構築するためにも、県立病院や民間医療施設、介護施設と連携を取りながら、DX を活用したネットワーク化を着実にすすめていきます。</p>
23	<p>パブリックコメント④-2 在宅医療</p> <p>・衣川にモバイルを活用した遠隔診療が始まりましたが、患者の自宅、自室に入っていき、看護師が診察し遠隔にて医師から画像診断指示をしてもらえることが望ましいと思っています。</p>	<p>《B》</p> <p>・患者様の状況に応じて、対応できるように準備しています。</p>
24	<p>パブリックコメント④-3 医療機能</p> <p>・市立病院は現在 50 床の休床であると思うので、その分の看護師が余っていると思われます。そこを必要とされている訪問診療に回ってもらい、民間でも回り切れないところを市の病院が柔軟に対応するようお願いしたいです。</p>	<p>《D》</p> <p>・総合水沢病院では、3 病棟体制から 2 病棟体制に変更し、50 床を休床しています。それに合わせて看護師数を抑制してきており、現在、余剰人員はありません。今後、訪問診療など市民が求める医療と、他の機能や役割を調整し、看護師の適正な配置に努めます。</p>
25	<p>パブリックコメント④-4 医療機能</p> <p>・レスパイト病棟もあると聞きました。出来れば、障害のお子さん、大人の方の預け入れも行って欲しいです。国や県で整備はされていてもそれは実際の現状に合っていないです。そこを市でカバーしてほしいです。</p>	<p>《D》</p> <p>・レスパイト入院について、障がいを抱えた子どもや一般の方の受入れについては、関係する医療施設と協議しながら対応を検討していきます。</p>

26	<p>パブリックコメント⑤-1 事業運営</p> <p>・公立病院等の使命は、当該地域住民の医療確保、疾病予防、健康増進等に寄与することが第一の使命であり、その評価は、経営収支よりも、地域住民の満足度で図るべきである。</p>	<p>《D》</p> <p>・公立病院の使命はご指摘のとおりだと思います。その使命を果たすためには持続可能な事業運営が必要であり、医療の質と経営の健全化の両輪で運営していくことが重要だと考えています。</p>
27	<p>パブリックコメント⑤-2 経営に関すること</p> <p>・衣川歯科診療所の経営改善策として、会計年度職員採用で人件費を抑制することが記述されているが、公務公共サービスの価値は、職員の賃金、労働条件の水準に比例すると言っても良い。人件費をコストと見る発想ではなく投資として見るべき。不安定雇用で安上がりが良いとする発想は、市民を軽視するものであり撤回を求める。</p>	<p>《A》</p> <p>・正規職員が減員となり、会計年度任用職員により運営している実態を踏まえ記載したものでした。ご指摘のとおり P40 の実施項目から削除します。</p>
28	<p>パブリックコメント⑤-3 医師確保</p> <p>・経営の根幹の一つである医師確保について、これまでの取り組みを評価するものの、さらに視野を広げて、首都圏の医科大学または大病院の医療法人との連携を拡大すべきだ。そのためには、地元医師会を始め、市民の協力が必須だ。あらゆるツテを使って人材発掘のパイプを広げてほしい。</p>	<p>《D》</p> <p>・ご指摘のとおり、医師会や市民の協力を得ながら医師確保に努めていきます。</p>
29	<p>パブリックコメント⑤-4 事業運営</p> <p>・医療局の事業管理者は医師免許のある者にすべきだ。同職は、市医療局の医師を統括できる力量が求められる。さらに、事務方が前に出すすぎる現況は問題がある。もっと各職種から経営参画させるべきだ。</p>	<p>《D》</p> <p>・ご意見として承ります。</p>
30	<p>パブリックコメント⑥-1 在宅医療</p> <p>・モバイルクリニックについて、寝たきりの患者などの場合、患者のベッドサイドで診察を受けることは可能なのでしょうか？</p>	<p>《B》</p> <p>・患者様の状況に応じて、対応できるように準備しています。</p>
31	<p>パブリックコメント⑥-2 在宅医療</p> <p>・在宅医療に対する不安を一つずつ取り除いていくと、‘在宅率’は上がっていくのではないかと思います。その一つがレスパイト入院です。在宅推進とレスパイト整備はセットだと思いました。</p>	<p>《A》</p> <p>・市立医療施設の役割の一つとして、レスパイト入院に対応できるよう取り組んでいきます。</p> <p>・プラン P39 の総合水沢病院の具体的な取組にもレスパイト入院の対応検討を追記しました。</p>
32	<p>パブリックコメント⑥-3 市の施策</p> <p>・医療的ケア児への対応は具体的にどのように検討しているのでしょうか？例えば、ショートステイのニーズや災害時の対応はどう考えていますか？</p>	<p>《D》</p> <p>・対象となる家族の要望を把握し、ご意見のありました、ショートステイや災害時の受入れなどについて、具体的な検討をすすめていきます。</p>
33	<p>パブリックコメント⑥-4 新医療センター整備</p> <p>・新医療センターは現在の総合水沢病院とは異なる役割を担う部分があるように感じます。職員の人材育成・スキルアップを計画的に取り入れ、スムーズに移行できることを望みます。</p>	<p>《D》</p> <p>・新医療センターに対し市民が求める医療サービスを提供するため、必要な人材の確保と育成に取り組んでいきます。</p>

